# 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2019年11月8日


上場会社名　カネソウ株式会社　　上場取引所　名
コード番号　5979　URL http://www.kaneso.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 近藤　健治
問合せ先責任者　(役職名) 専務取締役管理本部長　(氏名) 南川　智之　TEL 059-377-4747

四半期報告書提出予定日　2019年11月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期第2四半期の業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2020年3月期第2四半期 | 3,447 | 3.6 | 81 | 112.0 | 62 | 193.8 | 36 | 583.0 |
| 2019年3月期第2四半期 | 3,326 | △2.1 | 38 | 97.1 | 21 | ― | 5 | ― |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|---|---|---|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2020年3月期第2四半期 | 25.46 | ― |
| 2019年3月期第2四半期 | 3.73 | ― |

### (2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2020年3月期第2四半期 | 15,497 | 13,579 | 87.6 |
| 2019年3月期 | 15,701 | 13,650 | 86.9 |

(参考) 自己資本　2020年3月期第2四半期　13,579百万円　2019年3月期　13,650百万円

## 2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2019年3月期 | ― | 75.00 | ― | 75.00 | 150.00 |
| 2020年3月期 | ― | 75.00 | | | |
| 2020年3月期(予想) | | | ― | 75.00 | 150.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

## 3. 2020年 3月期の業績予想(2019年 4月 1日～2020年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 7,500 | 2.5 | 353 | 3.2 | 315 | 2.4 | 220 | 10.2 | 154.53 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2020年3月期2Q | 1,440,000 株 | 2019年3月期 | 1,440,000 株 |
| ② 期末自己株式数 | 2020年3月期2Q | 16,290 株 | 2019年3月期 | 16,290 株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2020年3月期2Q | 1,423,710 株 | 2019年3月期2Q | 1,423,710 株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページをご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）経営成績に関する説明 ……2
（２）財政状態に関する説明 ……2
（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明 ……3
２．四半期財務諸表及び主な注記 ……4
（１）四半期貸借対照表 ……4
（２）四半期損益計算書 ……6
（３）四半期財務諸表に関する注記事項 ……7
（継続企業の前提に関する注記） ……7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） ……7

## １．当四半期決算に関する定性的情報

### （１）経営成績に関する説明

当第２四半期累計期間における国内経済は、雇用環境の改善が続き、個人消費や設備投資など内需が支えとなり、底堅い推移を続けてまいりました。一方で、米中間における通商問題をめぐる緊張の増大から、世界経済に与える影響が広がる中で、政治情勢も不確実性が高まるなど、景気は下振れリスクを抱え、企業収益にも陰りが見られる状況となりました。当社の主要な市場における建設関連業界におきましては、建設関連需要が、政策効果や都市部を中心とした再開発などの下支えもあり、底堅く推移してまいりました。しかしながら、材料価格や物流費用をはじめとするコストの上昇、及び労働者の不足感は解消されることがないことから、取り巻く事業環境は厳しい状況が続いております。こうした状況のもと、市場における適正な販売価格に向け、取り組みを進めてまいりましたことから、改善に繋がることとなりました。その結果、売上高は、34億47百万円（前年同四半期比3.6％増）となりました。製品分類別における状況は次のとおりであります。

鋳鉄器材は、建築工事関連が低調なことから、雨水排水・防水関連製品は、やや低位な状況にありますが、外構、街路関連工事の改善から、外構・街路関連製品が増加し、9億28百万円（同1.6％増）となりました。

スチール機材は、外構・街路関連製品がやや増加しましたが、設備、土木工事関連の納入が低位な状況が続いていることから、５億59百万円（同5.4％減）となりました。

製作金物は、建築工事関連がやや低調な状況から、建築金物が減少しましたが、外構、街路等景観整備工事が堅調なことから、外構・街路関連製品が増加し、防災関連製品の納入が増えていることから、17億８百万円（同11.8％増）となりました。

その他は、公共投資がやや低調な状況が続き、土木需要が低下していることと、建機、機械向け製品の需要減少が継続した影響などにより、２億51百万円（同14.4％減）となりました。

利益につきましては、材料価格など高値状態が続いていることから、引き続きコスト環境は厳しい状況にあり、需要の伸びも低位にあることから、販売、及び生産活動における、原価率の改善に努めてまいりました。その結果、売上総利益は、11億58百万円（同6.4％増）となりました。販売費及び一般管理費につきましては、運送に係る費用の上昇や、上半期におきましては施設の改善に伴う修繕費用の計上など、経費負担の増加はありますが、営業利益は81百万円（同112.0％増）となりました。営業外損益につきましては、低金利の環境が更に進むこととなり、収益の低い状況は変わらず、前年並みでの推移となりました。その結果、経常利益は62百万円（同193.8％増）となり、四半期純利益は36百万円（同583.0％増）となりました。

### （２）財政状態に関する説明

当第２四半期会計期間の財政状態は、総資産は前事業年度末に比べ２億３百万円減少し154億97百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べ４億41百万円減少し116億84百万円となりました。その主な要因は、製品が60百万円、原材料及び貯蔵品が48百万円それぞれ増加しましたが、現金及び預金が４億10百万円、受取手形及び売掛金が１億33百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ２億37百万円増加し38億13百万円となりました。その主な要因は、有形固定資産の機械及び装置が２億52百万円増加したこと等によるものであります。

負債は、前事業年度末に比べ１億31百万円減少し19億18百万円となりました。その主な要因は、流動負債が１億15百万円、固定負債が16百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

純資産は、前事業年度末に比べ71百万円減少し135億79百万円となりました。その主な要因は、四半期純利益の計上が36百万円ありましたが、剰余金の配当が１億６百万円あったこと等によるものであります。

### （３）業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、国内経済が外部要因である米中の貿易問題をはじめとする世界情勢の不安定要因が収まらず、拡大しており、その影響から先行への慎重さや不透明感が更に深まることとなりました。こうした状況から設備投資や企業収益にも調整感が現れるものとなりました。建設関連はオリンピック関連投資などが終息に向かい、需要がやや弱含みになることも予想されますが、当面の大都市圏を中心としたインフラ整備や再開発需要は引き続き底堅く推移することが見込まれます。このような環境のもと、ニーズに対応した新製品開発や市場開拓を進め、需要獲得に向けた営業活動と、社内における生産効率、生産性の向上を図り、製品毎の収益力の改善に取り組み、業績の向上に努めてまいります。

## ２．四半期財務諸表及び主な注記

### （１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

| | 前事業年度<br>(2019年３月31日) | 当第２四半期会計期間<br>(2019年９月30日) |
|---|---|---|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 8,367,232 | 7,956,977 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,275,769 | 1,141,943 |
| 電子記録債権 | 183,629 | 144,216 |
| 有価証券 | 1,300,000 | 1,300,000 |
| 製品 | 492,759 | 553,246 |
| 仕掛品 | 108,098 | 129,150 |
| 原材料及び貯蔵品 | 394,922 | 443,703 |
| その他 | 17,780 | 28,140 |
| 貸倒引当金 | △14,952 | △13,173 |
| 流動資産合計 | 12,125,240 | 11,684,204 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 土地 | 1,732,878 | 1,732,878 |
| その他（純額） | 1,441,703 | 1,682,760 |
| 有形固定資産合計 | 3,174,581 | 3,415,638 |
| 無形固定資産 | 7,719 | 11,020 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 72,010 | 70,739 |
| その他 | 333,683 | 328,283 |
| 貸倒引当金 | △12,000 | △12,000 |
| 投資その他の資産合計 | 393,694 | 387,023 |
| 固定資産合計 | 3,575,994 | 3,813,682 |
| 資産合計 | 15,701,235 | 15,497,886 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 256,818 | 275,100 |
| 未払法人税等 | 111,903 | 35,786 |
| 賞与引当金 | 57,056 | 62,328 |
| その他 | 275,316 | 212,521 |
| 流動負債合計 | 701,096 | 585,737 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付引当金 | 300,649 | 294,927 |
| 役員退職慰労引当金 | 481,785 | 468,743 |
| その他 | 566,747 | 569,091 |
| 固定負債合計 | 1,349,182 | 1,332,763 |
| 負債合計 | 2,050,279 | 1,918,500 |

(単位：千円)

| | 前事業年度<br>(2019年３月31日) | 当第２四半期会計期間<br>(2019年９月30日) |
|---|---|---|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,820,000 | 1,820,000 |
| 資本剰余金 | 1,320,000 | 1,320,000 |
| 利益剰余金 | 10,562,447 | 10,491,918 |
| 自己株式 | △69,828 | △69,828 |
| 株主資本合計 | 13,632,618 | 13,562,090 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 18,338 | 17,295 |
| 評価・換算差額等合計 | 18,338 | 17,295 |
| 純資産合計 | 13,650,956 | 13,579,385 |
| 負債純資産合計 | 15,701,235 | 15,497,886 |

## （２）四半期損益計算書

第２四半期累計期間

（単位：千円）

| | 前第２四半期累計期間<br>（自 2018年４月１日<br>至 2018年９月30日） | 当第２四半期累計期間<br>（自 2019年４月１日<br>至 2019年９月30日） |
|---|---|---|
| 売上高 | 3,326,882 | 3,447,970 |
| 売上原価 | 2,238,166 | 2,289,143 |
| 売上総利益 | 1,088,715 | 1,158,826 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,050,161 | 1,077,088 |
| 営業利益 | 38,554 | 81,738 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 854 | 860 |
| 受取配当金 | 1,534 | 1,540 |
| 不動産賃貸料 | 9,472 | 9,359 |
| その他 | 2,997 | 1,762 |
| 営業外収益合計 | 14,858 | 13,522 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 5,562 | 5,618 |
| 売上割引 | 24,249 | 25,073 |
| その他 | 2,320 | 2,051 |
| 営業外費用合計 | 32,132 | 32,743 |
| 経常利益 | 21,280 | 62,517 |
| 税引前四半期純利益 | 21,280 | 62,517 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 19,481 | 23,915 |
| 法人税等調整額 | △3,508 | 2,352 |
| 法人税等合計 | 15,972 | 26,267 |
| 四半期純利益 | 5,307 | 36,250 |

## （３）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。